

2. アンケート設問一覧

問 1－17は、回答者の属性に関するものです。
問18－21は、技士会連合会活動に関するものです。
問22－32は、発注者に関するものです。

- 問1. 貴方の年齢について伺います
- 問2. 貴方の性別について伺います
- 問3. 貴方の最終学歴について伺います
- 問4. 貴方の取得している土木施工管理技士の級について伺います
- 問5. 貴方は監理技術者資格者証を習得していますか
- 問6. 貴方が土木施工管理技士の他に取得している、建設業に関係する国家資格(1・2級、士・士補を含む)の取得状況をお尋ねします(複数回答可)
- 問7. 貴方の建設業における実務経験通算年数についてお伺いします
- 問8. 貴方の勤めている会社で現在の立場は、下記のいずれに該当しますか
- 問9. 貴方の勤めている会社の資本金はどれほどですか
- 問10. 貴方の会社の建設業法上の許可種別は、下記のいずれですか
- 問11. 貴方の会社が許可を受けている業種は、下記のいずれですか(複数回答可)
- 問12. 昨年の主な業務の内容は、下記のいずれですか(2つ以内を選択)
- 問13. 貴方の休日(土・日・祝日を含む)は月平均何日くらいですか
- 問14. 貴方の仕事の満足度は如何ですか
- 問15. 貴方は、社内の通常業務を遂行する上で、業務上の隘路(障害・難点)は、どこに感じていますか
(2つ以内を選択)
- 問16. 貴方は、技術的な自己啓発を行う場合、どのような形の活動を行いましたか
(主要なものから2つ以内を選択)
- 問17. 貴方の研修・講習会等に出席する回数は年何回程度ですか
-
- 問18. CPDSの講習会での教科目として、どのようなものを受講したいですか(3つ以内を選択)
- 問19. 連合会からの情報発信物としての「マンスリーレポート」の利用状況について
- 問20. 連合会からの情報発信物としての「ホームページ」の利用状況について
- 問21. 技士会連合会もしくは各県等技士会の今後盛んにすべき活動内容について希望することは何ですか
(主要な項目から2つ以内を選択してください)
-

問22. 発注者側の要求する工事関係提出書類等の簡素化、省力化について（1-1～1-6のうち1つを選択してください。）

- 1-1 見直しされてなくムダが非常に多い
- 1-2 近年簡素化が進んできたがまだ沢山ある
- 1-3 同一発注機関でも発注者監督員により質・量に差がある
- 1-4 発注者側での見直しも進み、この程度は仕方ない
- 1-5 今のままで良い
- 1-6 わからない

追加質問

● 「1-1 見直しされてなくムダが非常に多い」とお答の方は以下の質問にお答えください

22.1.1 回答される基になった主要な工事について

22.1.1.1 施工地の県名

22.1.1.2 発注主体

22.1.2 1年前と比較して（1年前の工事発注者が、上記で選択された発注主体と同一である方だけ1～3を選択してください。それ以外の方は4を選択してください。）

- 1. 1年前と比較して提示・提出書類が増えた
- 2. 1年前と比較して提示・提出書類が減った
- 3. 1年前と比較して提示・提出書類は変わらない
- 4. 1年前に同一発注者の工事に携わっていない

22.1.3 何に使う書類がもっとも多いですか。（2つ以内を選択）

- 1. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されている書類
- 2. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う、仕様書に規定されている書類
- 3. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されている書類
- 4. 施工管理に使う、仕様書に規定されている書類
- 5. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
- 6. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
- 7. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
- 8. 施工管理に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
- 9. 発注者が関与しない、工事成績評定などを考えて自分の考えで作成する書類
- 10. その他（ ）

22.1.4 その書類は主に誰に提出を依頼されましたか。

- 1. 監督官
- 2. 監督補助員（発注者から委託を受けた会社の社員）
- 3. 監督官以外の発注者担当者
- 4. 自らもしくは会社の意志による

5. その他()

22.1.5 改善策として妥当と思うものを選択してください。

1. 仕様書に照査の範囲を明確にして範囲以外の資料を提出しないようにする
2. 仕様書に定める書類の提出・提出以外は、発注者是对価を支払うようにする
3. ITを活用して現場の計測値をそのまま保存して提示書類に替える
4. 工事箇所毎に提出書類の総枚数を記録し、検査時等に明示する
5. その他()

● 「1-2 近年簡素化が進んできたがまだ沢山ある」とお答の方は以下の質問にお答えください

22.2.1 回答される基になった主要な工事について

22.2.1.1 施工地の県名

22.2.1.2 発注主体

22.2.2 1年前と比較して（1年前の工事発注者が、上記で選択された発注主体と同一である方だけ

1～3を選択してください。それ以外の方は4を選択してください。）

1. 1年前と比較して提示・提出書類が増えた
2. 1年前と比較して提示・提出書類が減った
3. 1年前と比較して提示・提出書類は変わらない
4. 1年前に同一発注者の工事に携わっていない

22.2.3 何に使う書類がもっとも多いですか。（2つ以内を選択）

1. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されている書類
2. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う、仕様書に規定されている書類
3. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されている書類
4. 施工管理に使う、仕様書に規定されている書類
5. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
6. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
7. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
8. 施工管理に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
9. 発注者が関与しない、工事成績評定などを考えて自分の考えで作成する書類
10. その他()

22.2.4 その書類は主に誰に提出を依頼されましたか。

1. 監督官
2. 監督補助員（発注者から委託を受けた会社の社員）
3. 監督官以外の発注者担当者
4. 自らもしくは会社の意志による
4. その他()

22.2.5 改善策として妥当と思うものを選択してください。

1. 仕様書に照査の範囲を明確にして範囲以外の資料を提出しないようにする
2. 仕様書に定める書類の提出・提出以外は、発注者は対価を支払うようにする
3. ITを活用して現場の計測値をそのまま保存して提示書類に替える
4. 工事箇所毎に提出書類の総枚数を記録し、検査時等に明示する
5. その他()

● 「1-3 同一発注機関でも発注者監督員により質・量に差がある」とお答の方は以下の質問にお答えください

22.3.1 回答される基になった主要な工事について

22.3.1.1 施工地の県名

22.3.1.2 発注主体

22.3.2 1年前と比較して（1年前の工事発注者が、上記で選択された発注主体と同一である方だけ

1～3を選択してください。それ以外の方は4を選択してください。）

1. 1年前と比較して提示・提出書類が増えた
2. 1年前と比較して提示・提出書類が減った
3. 1年前と比較して提示・提出書類は変わらない
4. 1年前に同一発注者の工事に携わっていない

22.3.3 何に使う書類がもっとも多いですか。（2つ以内を選択）

1. 完成(中間)検査に使う、仕様書に規定されている書類
2. 工事打ち合わせ・協議(設計変更協議)に使う、仕様書に規定されている書類
3. 工事打ち合わせ・協議(設計変更以外の協議)に使う、仕様書に規定されている書類
4. 施工管理に使う、仕様書に規定されている書類
5. 完成(中間)検査に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
6. 工事打ち合わせ・協議(設計変更協議)に使う仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
7. 工事打ち合わせ・協議(設計変更以外の協議)に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
8. 施工管理に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
9. 発注者が関与しない、工事成績評定などを考えて自分の考えで作成する書類
10. その他()

22.3.4 その書類は主に誰に提出を依頼されましたか。

1. 監督官
2. 監督補助員(発注者から委託を受けた会社の社員)
3. 監督官以外の発注者担当者
4. 自らもしくは会社の意志による
4. その他()

22.3.5 改善策として妥当と思うものを選択してください。

1. 仕様書に照査の範囲を明確にして範囲以外の資料を提出しないようにする

2. 仕様書に定める書類の提出・提出以外は、発注者は対価を支払うようにする
3. ITを活用して現場の計測値をそのまま保存して提示書類に替える
4. 工事箇所毎に提出書類の総枚数を記録し、検査時等に明示する
5. その他()

● 「1-4 発注者側での見直しも進み、この程度は仕方ない」とお答の方は以下の質問にお答えください

22.4.1 回答される基になった主要な工事について

22.4.1.1 施工地の県名

22.4.1.2 発注主体

22.4.2 1年前と比較して（1年前の工事発注者が、上記で選択された発注主体と同一である方だけ
1～3を選択してください。それ以外の方は4を選択してください。）

1. 1年前と比較して提示・提出書類が増えた
2. 1年前と比較して提示・提出書類が減った
3. 1年前と比較して提示・提出書類は変わらない
4. 1年前に同一発注者の工事に携わっていない

22.4.3 何に使う書類がもっとも多いですか。（2つ以内を選択）

1. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されている書類
2. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う、仕様書に規定されている書類
3. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されている書類
4. 施工管理に使う、仕様書に規定されている書類
5. 完成（中間）検査に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
6. 工事打ち合わせ・協議（設計変更協議）に使う仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
7. 工事打ち合わせ・協議（設計変更以外の協議）に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
8. 施工管理に使う、仕様書に規定されていない書類（手持ち資料など）
9. 発注者が関与しない、工事成績評定などを考えて自分の考えで作成する書類
10. その他()

22.4.4 その書類は主に誰に提出を依頼されましたか。

1. 監督官
2. 監督補助員（発注者から委託を受けた会社の社員）
3. 監督官以外の発注者担当者
4. 自らもしくは会社の意志による
4. その他()

22.4.5 改善策として妥当と思うものを選択してください。

1. 仕様書に照査の範囲を明確にして範囲以外の資料を提出しないようにする
2. 仕様書に定める書類の提出・提出以外は、発注者は対価を支払うようにする
3. ITを活用して現場の計測値をそのまま保存して提示書類に替える

4. 工事箇所毎に提出書類の総枚数を記録し、検査時等に明示する

5. その他()

● 「1-5 今のままで良い」とお答の方は以下の質問にお答えください

22.5.1 回答される基になった主要な工事について

22.5.1.1 施工地の県名

22.5.1.2 発注主体

22.5.2 1年前と比較して（1年前の工事発注者が、上記で選択された発注主体と同一である方だけ

1～3を選択してください。それ以外の方は4を選択してください。）

1. 1年前と比較して提示・提出書類が増えた
2. 1年前と比較して提示・提出書類が減った
3. 1年前と比較して提示・提出書類は変わらない
4. 1年前に同一発注者の工事に携わっていない

22.5.3 何に使う書類がもっとも多いですか。（2つ以内を選択）

1. 完成(中間)検査に使う、仕様書に規定されている書類
2. 工事打ち合わせ・協議(設計変更協議)に使う、仕様書に規定されている書類
3. 工事打ち合わせ・協議(設計変更以外の協議)に使う、仕様書に規定されている書類
4. 施工管理に使う、仕様書に規定されている書類
5. 完成(中間)検査に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
6. 工事打ち合わせ・協議(設計変更協議)に使う仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
7. 工事打ち合わせ・協議(設計変更以外の協議)に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
8. 施工管理に使う、仕様書に規定されていない書類(手持ち資料など)
9. 発注者が関与しない、工事成績評価などを考えて自分の考えで作成する書類
10. その他()

22.5.4 その書類は主に誰に提出を依頼されましたか。

1. 監督官
2. 監督補助員(発注者から委託を受けた会社の社員)
3. 監督官以外の発注者担当者
4. 自らもしくは会社の意志による
4. その他()

22.5.5 改善策として妥当と思うものを選択してください。

1. 仕様書に照査の範囲を明確にして範囲以外の資料を提出しないようにする
2. 仕様書に定める書類の提出・提出以外は、発注者は対価を支払うようにする
3. ITを活用して現場の計測値をそのまま保存して提示書類に替える
4. 工事箇所毎に提出書類の総枚数を記録し、検査時等に明示する
5. その他()

問23. 貴方の担当した工事で、完成時に発注者側で行っている工事成績評価は、どうでしたか

1. 適正評価
2. 概ね適正評価であった
3. やや疑問
4. 疑問
5. わからない

● 「1 適正評価」とお答の方は以下の質問にお答えください

回答される基になった主要な工事について

23.1.1 施工地の県名

23.1.2 発注主体

● 「2 概ね適正評価」とお答の方は以下の質問にお答えください

回答される基になった主要な工事について

23.2.1 施工地の県名

23.2.2 発注主体

● 「3 やや疑問」とお答の方は以下の質問にお答えください

回答される基になった主要な工事について

23.3.1 施工地の県名

23.3.2 発注主体

23.3.3 疑問なのはどこですか

1. 個人差があるもしくは恣意的に付ける監督官がいる
2. 評価ウエイトが検査官が大きすぎる
3. 評価ウエイトが監督官が大きすぎる
4. 評価ウエイトが検査官が小さすぎる
5. 評価ウエイトが監督官が小さすぎる
6. 評価理由が知らされない
7. その他()

● 「4. 疑問」とお答の方は以下の質問にお答えください

回答される基になった主要な工事について

23.4.1 施工地の県名

23.4.2 発注主体

23.4.3 疑問なのはどこですか

1. 個人差があるもしくは恣意的に付ける監督官がいる
2. 評価ウエイトが検査官が大きすぎる
3. 評価ウエイトが監督官が大きすぎる
4. 評価ウエイトが検査官が小さすぎる
5. 評価ウエイトが監督官が小さすぎる

6. 評価理由が知らされない

7. その他()

問24. 最近の工事施工の中で、発注者側の不備等が感じられ、今後、早期に改善・努力等して頂きたいものがありますか(2つ以内を選択)

1. 工事の事前地元説明・折衝不足
2. 設計図書での管理基準等の明確化
3. 工事費積算根拠開示
4. 監督職員の明確な指示等
5. 現場条件変更に伴う設計変更等の適切な実施
6. 発注者側監督員の技術力向上への努力
7. 改善要望等は当面無い
8. その他()

● 「1. 工事の事前地元説明・折衝不足」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.1.1 施工地の県名

24.1.2 発注主体

24.1.3 何の説明の不足ですか

1. 地元住民への説明
2. 説明不足による用地未買収
3. 支障物協議(NTT電気・自治体など)の不足
4. その他()

24.1.4 説明不足により工事の遅れはどの程度でしたか(契約してから現場着手がどのくらい期間がすぎたかなどをいいます)

1. 遅れなかった
2. 1週間 程度
3. 2週間 程度
4. 1ヶ月 程度
5. 2～3ヶ月 程度
6. 3ヶ月以上

● 「2. 設計図書での管理基準等の明確化」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.2.1 施工地の県名

24.2.2 発注主体

24.2.3 どの設計基準が不明確ですか

1. 個別の条件明示
2. その他()

● 「3. 工事費積算根拠開示」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.3.1 施工地の県名

24.3.2 発注主体

24.3.3 どの積算基準が不明確ですか

1. 仮設の積算内要が不明
2. 交通整理員の積算人数が実際と異なる
3. その他()

● 「4. 監督職員の明確な指示等」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.4.1 施工地の県名

24.4.2 発注主体

24.4.3 具体的に何が不都合ですか

1. 指示が不明瞭である
2. 指示が遅い
3. 指示を文書でくれない
4. 指示が後で覆される
5. その他()

● 「5. 現場条件変更に伴う設計変更等の適切な実施」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.5.1 施工地の県名

24.5.2 発注主体

24.5.3 設計変更のよくある原因はなんですか(2個選択可)

1. 図面と仕様書と現場説明と質問回答書のいずれかが整合しない
2. 設計図書に誤謬がある
3. 設計図書の条件明示が明確でない
4. 設計図書と実際の現場が一致しない
5. 施工条件にない予期しない状態が発生した
6. その他()

24.5.4 具体的にどんな不具合が困りましたか(2個選択可)

1. 設計変更で長くなる工事期間の現場維持費等の経済負担を施工会社が負う
2. 設計照査の範囲が不明確で設計変更の図面作成などの経済負担を施工会社が負う
3. 変更指示が遅いので工期が守れなくなる その結果工期を守るために指示前に工事を進めざるを得ない場合がある
4. 設計変更の指示はあるが金額が明示されない 最終的に支払われない場合がある
5. 設計変更指示が後で覆される

6. その他()

24.5.5 改善策として妥当と思うもの(2個選択可)

1. 工事監理を本格的に発注者からコンサルタントに委託し専門家による工事監理を行う
2. 発注者監督員(監督補助員)の工事監理研修を増やす
3. 監督官と監督補助員の権限を明確にする
4. 変更図面を、内容に詳しく責任もある当該工事の詳細設計コンサルタントが作成する
5. 変更図面を、施工会社で作成し発注者はその対価を支払う
6. 設計変更で長くなる工事期間の現場維持費等の経済負担を原因等により発注者等が負う
7. 設計変更の図面作成などの経済負担を原因等により発注者が負う
8. その他()

- 「6. 発注者側監督員の技術力向上への努力」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.6.1 施工地の県名

24.6.2 発注主体

24.6.3 具体的に何を希望しますか

1. 施工管理技士1級の資格を取る
2. 施工管理技士2級の資格を取る
3. 技術士の資格を取る
4. その他()

- 「7. 改善要望等は当面無い。」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

24.7.1 施工地の県名

24.7.2 発注主体

問25. 国は2006～2008年にかけて「設計変更ガイドライン」などを作成し活用しています。ただ、現状はすべての発注機関でこうしたガイドラインが整備されているとはかぎりません。そこで「設計変更ガイドライン」を知っていますか、また活用していますか(1つを選択)

1. 「設計変更ガイドライン」を知っていて活用している
2. 「設計変更ガイドライン」を知っているが活用したことがない
3. 知らない

- 「1. 知っていて活用したことがある」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

25.1.1 施工地の県名

25.1.2 発注主体

25.1.3 ガイドラインを活用してみてどう思いましたか(1個選択)

1. 内容が良く、周知されているので、改訂も周知も必要ない
2. 内容が不十分なので改訂するとともに、周知が必要である

3. 周知されているが、内容が不十分なので、改訂すべきである
4. 内容が良く改訂の必要はないが、受・発注者にもっと周知すべきである
5. ガイドラインそのものが必要ない
6. わからない

25.1.3.1 「2と3.内容が不十分なので、改訂すべきである」とお答の方は、改訂するとしたら、どこを何故改訂するのか 下記に記述してください

改訂箇所と理由:

25.1.3.2 「2と4.周知が不十分なので、周知すべきである」とお答の方は、誰を対象に周知すべきか、下記より選択してください

1. 発注者で係長以下若手職員
2. 発注者で課長以上の職員
3. 受注者で現場技術職員
4. その他（自由記入 ）

25.1.5.3 「5.ガイドラインそのものが必要ない」とお答の方は、どういう理由で必要ないと思われるのですか
下記に記述してください（自由記入 ）

問26. 情報共有システム(ASP:受発注者ともにインターネットを利用して同じデータを見ることにより、書類の提出、決裁等の処理を迅速に行うことが可能)の活用による工事書類の電子処理化が実施されていますが、貴方は知っていますか

1. 知っていて、活用している
2. 知っているが、活用したことがない
3. 知らない

● 「1. 知っていて、活用している」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

26.1.1 施工地の県名

26.1.2 発注主体

26.1.3 実施してみてどう思いましたか

1. とても良い
2. よくわからない
3. 改善すべき点がある
4. 負担が増え必要と思わない

26.1.3.1 「3. 改善すべき点がある」と答えた方はその理由をお答えください(複数選択可)

1. システムの操作性や電子化の手間
2. 紙での提出も求められる
3. 決裁、承認が遅いので持参の方が早い
4. その他（自由記入）

26.1.3.2 「4. 負担が増え必要と思わない」答えた方はその理由をお答えください(複数選択可)

1. システムの操作性や電子化の手間
2. 紙での提出も求められる
3. 決裁、承認が遅いので持参の方が早い
4. その他 (自由記入)

問27. 公共工事で設計変更を行うとき設計変更審査会(設計変更協議を受けた場合に受発注者で話し合う会議、名称が異なる場合がある)を行います。この制度を貴方は知っていますか

1. 知っていて、活用している
2. 知っているが、活用したことがない
3. 知らない

● 「1. 知っていて、活用している」とお答の方は以下の追加質問にお答えください。

回答される基になった主要な工事について

27.1.1 施工地の県名

27.1.2 発注主体

27.1.3 状況で異なると思いますが、平均すると何回ぐらい設計変更審査会を開きましたか。

1. 1 工事当たり 1-2 回
2. 1 工事当たり 3-4 回
3. 1 工事当たり 5 回以上
4. 月 1 回程度定期的に
5. 週 1 回程度定期的に
6. その他

27.1.4 審査会に提出する変更図面・資料は通常誰が作成しますか。

1. 施工会社
2. 詳細設計をしたコンサルタント
3. 発注者支援コンサルタント
4. ②, ③以外のコンサルタント
5. 発注者自身

27.1.5 実施してみてどう思いましたか

1. とても良い
2. よくわからない
3. 改善すべき点がある
4. 負担が増え必要と思わない

27.1.7.1 「3.改善すべき点がある」と答えた方、何を何故改善するのか 下記に記述してください

(自由記入)

27.1.7.2 「4.負担が増え必要と思わない」と答えた方、何故そう思うのですか 下記に記述してください

(自由記入)

問28. 貴方は土木技術者として自分の仕事が役に立っていると感じていますか、次の中から1つ選択してください。

1. 役に立っている
2. 少しは役に立っている
3. あまり役に立っていない

● 「1. 役に立っている」と「2. 少しは役に立っている」を選んだ方にお聞きます。その仕事に誇りを感じていますか。

1. 強く感じる
2. 少し感じる
3. あまり感じない

● 「1. 強く感じる」と「2. 少し感じる」を選んだ方にお聞きます。誇りを感じた背景と思われるものを選んで下さい。(2つ以内を選択)

1. 造ったものが残る(地図に残るなど)
2. 多くの人に利用されている(感謝の有無に関係なく)
3. 利用者に喜んで貰っている
4. 自分の技術が活かされた
5. 家族や知人等に自慢できる
6. 発注者から高い評価を受ける(高評点、表彰等)
7. 新聞やテレビでニュースになる
8. その他(具体的に記載する)

● 「3. あまり役に立っていない」と「3. あまり感じない」を選んだ方にお聞きます。

なぜそう思いますか？次の中から選んで下さい。(2つ以内を選択)

1. 仕事だからやっているだけ
2. 利用者があまり喜んでいない
3. 自分の技術が活かされていない
4. 社会から評価されていない(悪く言われることもある)
5. 家族や知人に評価されていない
6. 発注者からの低い評価
7. 無駄なものを造っていると思う時がある
8. その他(具体的に記載する)

問29. 貴方は土木技術者として働く上で、何が重要だと思いますか、次の中から重要度の高い順に3つ選んでください。

1. やりがい(仕事内容や技術力が活かせるなど)
2. 適正な賃金
3. 休暇の取りやすさ(週休2日にはこだわらない)
4. 残業時間の低減

5. 週休 2 日制の実施
6. 職場での人間関係(対発注者)
7. 職場での人間関係(対発注者以外)
8. 職場環境(安全対策、清潔な職場など)の改善
9. 新たな技術や知識の習得
10. キャリアアップシステム(将来設計)の構築
11. 仕事に対する家族の理解
12. その他(具体的に記載する)

問30. 貴方はi-Construction の推進等を通じた生産性向上に関係した仕事をやったことがありますか。

1. やったことがある
2. やったことはないが知っている
3. i-Construction のことがよくわからない

● 「1. やったことがある」を選んだ方にお聞きします。建設現場の生産性向上に役立っていると思いますか。

1. 大いに役立っている
2. 少しは役立っている
3. あまり役立っていない

● 「1. やったことがある」と「2. やったことはないが知っている」を選んだ方にお聞きします。

建設現場の生産性を向上させる対策項目として、次の中から選んで下さい。(3 つ以内を選択)

1. 各種基準類の整備
2. 技術の習得の機会
3. 機材価格の低減(外注費を含め)
4. インセンティブの付与(入札、評価点等)
5. 生産性向上(i-Construction)の効果の発信
6. 各プロセスでの IC 化の展開
7. その他(具体的に記載する)

● 「2. やったことはないが知っている」と「3. i-Construction のことがよくわからない」

また「3. あまり役立っていない」を選んだ方にお聞きします。

i-Construction についてどう思いますか。次の中から1つ選んで下さい。

1. 今後必要になってくると思うので経験してみたい
2. 今後必要になってくると思うが経験したいとは思わない
3. 従来の方が効率的である
4. 必要性は解るが技術の習得に時間がかかり余分な負担である
5. 費用が高く利益が出ない
6. その他(具体的に記載する)

問31. 貴方は今までこの建設業(会社ではなく)を辞めようと思ったことがありますか。

1. ある
2. ない

● 「1. ある」を選んだ方にお聞きします。

辞めようと思った最も大きな理由を、次の中から1つ選んで下さい。

1. 勤務時間(休暇、残業等)
2. 賃金
3. 職場での人間関係(対発注者)
4. 職場での人間関係(対発注者以外)
5. 転勤
6. 家族から言われた
7. その他(具体的に記載する)

問32. 現在、貴方が建設業に従事している最も大きな理由を次の中から1つ選んでください。

1. この仕事が好きだから(やりがい)
 2. この仕事以外できる自信がなかった
 3. 次の仕事を見つけたりそこでの処遇への不安があった
 4. 家族や職場に説得された
 5. その他(具体的に記載する)
-